

鹿子木實信 （幼名） 哲學者、文學博士。明治十七年十一月二日東京生  
 れ、昭和二十四年十一月二十一日歿（六四—一九四九）。明治二十七年海  
 軍機關學校卒。中尉で退役後、京都帝國大學文科大學哲學科卒。慶應  
 義塾大學教授、この前後歐米各國に留學。大正十五年九州帝大教授、  
 翌五年ベルリン大學客員教授。戰時中大日本言論報國會專務理事兼事務  
 局長。

譯著書、ルドルフ・オイケン著『自然主義の理想主義の』(譯、大正三

年)二月、二十五日慶應義塾出版局、初山書店發賣)、『永遠の戰』(大

正四年十一月十五日同文館)、『文明と哲學的精神』(大正四年十一月

月)二十五日慶應義塾出版局。再刊、昭和十八年二月十五日文川堂書

房)、『戰鬪的人生觀』(大正六年二月二十八日同文館)、『佛蹟巡

禮行』(大正九年七月五日大鏡閣)、『ヒタラヤ行』(大正九年七月

十七日政教社)、『理想主義的惡戰』(大正十五年九月二十八日京文

社)、『日本の國策と海軍將校』(大正十五年十月二十一日寿・横須

賀鎮守府)、『教化總動員と講演』(合著、昭和四年十一月五日大阪

・大阪府社會課)、『日本精神發展の跡』(昭和五年六月二十日日本

青年協會「日本青年協會」リットト)、『國民精神への反省』(合

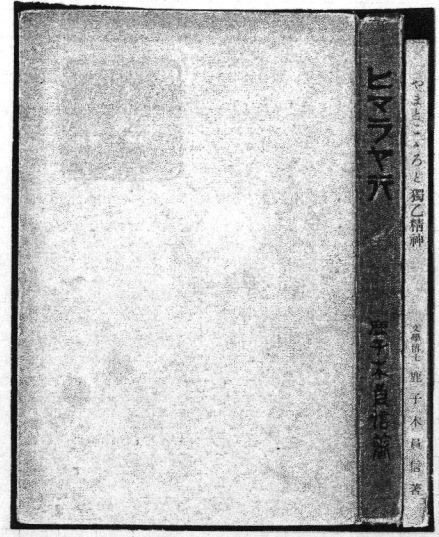
著・思想問題研究會編、昭和八年二

月十日社會教育會)、『ちまのちまの』



ちまのちまの精神』(昭  
 和八年四月二十日  
 民友社)、『思想問

問題の展望と批判』(合著・思想問



題研究会編、昭和六年五月一日社會教育會)、『思想問題と教育』(合著・同、昭和六年六月十日社會教育會)、『新日本主義と歴史哲學』(思想問題研究会編、普及版、昭和九年八月九日青年教育普及會)、  
『世界觀の戰心』(合著・大日本言論報國會編、昭和十八年九月一日  
同編海峽社「日本思想戰書」)等。